学校番号	T0207

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	論理国語（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・授業は、主にプリントを配付して行う。配付したプリントは必ず保管すること。
・板書事項は必ず記入し、保管の上復習する態度を養うこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
・論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、自分の思いや考えを深めたり広げたりすることができるようにする。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするための必要な語句の量を増やす。	・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味し、文章全体を整えたり自分の文章の特徴や課題をとらえなおしたりする。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。	・言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	逆説 ［教材］ 弱いつながり	a:語句の意味を正しく理解し、筆者の考えを適切にまとめている。 b[読]:読むことにおいて、文章の構成や表現の仕方について、書き手の意図との関係において評価している。 c:文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内観察
	具体と抽象 ［教材］ 『「具体」から「抽象」へ』	a:本教材を通して、「抽象的」「具体的」という概念を理解する。 b[読]:読むことにおいて、日常生活の中から抽象的思考の例を挙げ、わかりやすく説明できている。 c:他者に、本文の内容をできるだけ「具体的」に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	言葉と創造 ［教材］ 『ニュースとコミュニケーション』	a:『国境を超える言葉』の「音楽」という比喩と「桶」という比喩の対応関係をまとめることができている。 b[書]:「楽器を演奏することによって音楽を伝える」「桶で水を運ぶことによって人と人とをつなぐ」という比喩が指す内容を、論理的な構成を意識して表現している。 c:比喩の内容や対応関係について文章中の表現をもとに考えたことをまとめ、他者の意見を踏まえ、自分の意見を表現しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	表現 ［教材］ 小論文を書く	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:書くことにおいて、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c:読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、説得力のある文章を書こうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	情報と社会 ［教材］ 疑似群衆の時代	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている b:[話]話すことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握したうえで、自分の考え発表しすることができる。 c:筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	言葉と思考 ［教材］ 野生の「クジラ」と人間の「鯨」	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 b:[話・聞]話すことと聞くことにおいて、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めたうえで、自分の考えを発表することができ	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動

		る。また、他社の考えを聞き、理解することができる。 c:筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。			
	文章の背景 ［教材］「安楽」への全体主義	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[話・聞]:話すことと聞くことにおいて、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定したうえで、自分の考えを発表することができる。また、他者の考えを聞き、理解することができる。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	言葉と思考 ［教材］【解説】思考ツール	a:思考の可視化の意義を理解し、さまざまな「思考ツール」を利用している。 b[話・聞]:話すことと聞くことにおいて、自分の経験したことを「思考ツール」を利用して説明することができる。また、他者の説明を聞き、理解し、さらに自分の意見を深めたうえで新たな意見を発表することができる。 c:多様な「思考ツール」を利用し、自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内観察

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話、聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（１５）時間

・書くこと　…　（２５）時間

・読むこと　…　（４０）時間